

# 株式会社 AFIテクノロジー

<http://www.afi.co.jp/index.html>

所在地 兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-4

TEL 078-335-6699

代表者 代表取締役 円城寺 隆治

創設年月日 2013年5月21日

資本金 5,388万円

従業員数 5人

## 事業内容

株式会社AFIテクノロジーは、製品開発を行うに当たり誘電泳動に関する2件の特許を持っている。静電的な技術である誘電泳動法を、戸井雅和教授(京都大学大学院乳癌外科学)大政健史教授(大阪大学大学院工学研究科)との共同研究により発展させ、より効率的に細胞及び微生物の解析・選別・分離を行うことに成功した。

バイオ医薬品製造プロセスやiPS細胞などの再生医療の細胞製造プロセスでは、優良な細胞を非標識・非侵襲で選別し、高速で大量に分離・精製する技術が求められているが、未だ確立されていない。

細胞の状態別の解析・選別・分離を行うために誘電泳動下での挙動におけるメカニズムを解明し、解析技術と手法を確立して誘電泳動技術を用いて新たな細胞操作システムを開発することを目指している。



## 知的財産活用事例

関西にある株式会社アイワークス(横山社長)が持つ特許を活用し、株式会社産学連携パートナーズ(隅田社長)と協力し、誘電泳動を利用した製品開発を行うことを模索していた時に、旧知のフィルテクノジャパン株式会社の円城寺社長の持つ特許が今後の開発のコア技術であったことから、3社で特許を活用した製品開発を行う会社としてAFIテクノロジーを設立することとなった。2つの特許を元に補助金や金融公庫の支援を受け、製品開発を行い設立して2年、28年4月には新製品(微生物迅速検査分離/濃縮システムELESTA)の発売を開始する。研究用機器としての応用も可能であり、食品分野ではリアルタイムで検査が可能で東南アジア等、海外展開も視野に置いて活動している。次期製品開発に関してもコアな特許と、製品に関わる周辺特許を抑えつつ、開発を進めている。将来的にはIPOを目指す。

## 知的財産の創出や活用に関する取組

平成26年度 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)では京都大学を事業管理機関として、同医学部、徳島大学工学部、首都大学東京等による細胞解析・選別・分離のためのデバイス開発プロジェクトを行っている。

社内発明に関して報奨制度として、具体的には整備されていないが、将来のIPOを踏まえ、ストックオプション制を導入している。産学連携を重視しており、新たに再生医療に必要な不可欠な大量迅速分別システム、細胞解析・選別・分離のための研究施設を構え、研究開発を加速する体制を整えているところである。

## 起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

論文・特許に関して非常に重要なアイテムと位置づけている。資金など対外的な折衝においても重要である。そういう意味では基本特許はまず抑える必要があるものの、製品開発の段階で出てくるそのコアな特許の周辺特許を抑えること、製品そのものを守るための特許がより重要と考えている。基本特許だけで製品自体が守れることはない。